

愛知大学大学院 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●法学研究科 公法学専攻

【博士後期課程】

法学研究科公法学専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則第6条の2に定められた教育研究上の目的に照らして、以下のような学生を受け入れ、養成していくことを目指しています。

- (1) 法学の学理の追求を目指す持続的な志をもつ者。
- (2) 自立した研究活動を担いうる論理的・体系的思考力と価値判断能力をもつ者。
- (3) 公法学についての深い専門的な知識・思考力と社会的現実への応用的能力をもつ者。
- (4) 現実の社会の変化から法的問題を嗅ぎ取る感受力と問題解決能力をもつ者。
- (5) グローバルな視点から法的・政治的問題を把握し、解決できる能力をもつ者。
- (6) 一般入試では、修士論文審査の他に外国語（2言語）の筆記試験によって、自立した研究活動を担いうる基礎的研究能力を判定します。2013年度入試から、法務博士の学位を有する者を対象にした法科大学院修了者特別入試（リサーチペーパー試験）が新たに導入され、リサーチペーパー試験で判定します。

●法学研究科 私法学専攻

【博士後期課程】

法学研究科私法学専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則第6条の2に定められた教育研究上の目的に照らして、以下のような学生を受け入れ、養成していくことを目指しています。

- (1) 法学の学理の追求を目指す持続的な志をもつ者。
- (2) 自立した研究活動を担いうる論理的・体系的思考力と価値判断能力をもつ者。
- (3) 私法学についての深い専門的な知識・思考力と社会的現実への応用的能力をもつ者。
- (4) 現実の社会の変化から法的問題を嗅ぎ取る感受力と問題解決能力をもつ者。
- (5) グローバルな視点から法的・政治的問題を把握し、解決できる能力をもつ者。
- (6) 一般入試では、修士論文審査の他に外国語（2言語）の筆記試験によって、自立した研究活動を担いうる基礎的研究能力を判定します。2013年度入試から、法務博士の学位を有する者を対象にした法科大学院修了者特別入試（リサーチペーパー試験）が新たに導入され、リサーチペーパー試験で判定します。

●経済学研究科 経済学専攻

【修士課程】

経済学研究科修士課程では、(1) 現代の経済社会について、広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって分析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の養成、及び(2) 経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成をめざしています。

このような教育研究上の目的を達成するため、次のようなことを入学希望者に求めています。

一般・外国人留学生入試では、専攻しようとする専門科目についての学力に加え、日本人の学生にあつては外国語の能力、外国人については日本語による会話・コミュニケーション能力などについても重視します。

社会人特別入試では、特定の専門分野に関心をもち、適切かつ明確な研究テーマをもっていることを重視します。

【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる学識の育成、並びに高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力の向上、及びその基礎となる豊かな学識の修得を目的としています。

このような教育研究上の目的を達成するため、入学希望者に対して、今後の研究に関して明確な計画を持ち、その計画を実現するために必要な専門分野に関する十分な学識と外国語についての知識と活用能力を持っていることを求めています。

●経営学研究科 経営学専攻

【修士課程】

経営学研究科修士課程では、学生の受け入れ方針を以下の通り定め、広く国内外から次のような学生を受け入れます。

- (1) 本研究科で学ぶために必要な学力を有し、経営学に深い関心を持ち、主体的に研究する意欲と能力を有する人。
- (2) 経営学に関する専門知識を身につけ高度専門職業人をめざす人。
- (3) 社会で身につけた実務経験を理論として再構築しようとする人、あるいは、既に有している知識により高度な専門知識を付加しようとする人。
- (4) このような方針の下に、修士課程では①一般入学試験、②社会人特別入学試験、③推薦入学試験、④社会人コース入学試験を実施しています。入学定員は修士課程 15 名です。

【博士後期課程】

経営学研究科博士後期課程では、学生の受け入れ方針を以下の通り定め、広く国内外から次のような学生を受け入れます。

- (1) 経営学の分野において、研究者として自立して研究活動を行おうとする人。
- (2) 経営学の分野において、高度に専門的な職業に従事して研究活動を行おうとする人。
- (3) このような方針の下に、博士後期課程では一般入学試験を実施しています。入学定員は博士後期課程 5 名です。

●中国研究科 中国研究専攻

【修士課程】

中国研究科修士課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、学部横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、さらに研究者養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、修士課程においては、中国語文献の講読解析能力を土台に、相当の中国語能力およびそれに相応する英語など外国語能力、中華世界全体を俯瞰しうる幅広い視野と知識、その裏付けとなる問題意識と教養が求められます。在籍者の多数を占める留学生に対しては、日本における膨大な中国研究の蓄積を批判的に摂取しうるだけの日本語能力も当然ながら要求されます。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、学部横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、さらに研究者養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、博士後期課程においては、基本的

かつ広い視野を持ち、新たな研究分野を開拓し、学界の発展に寄与しうる一定の研究能力を持つ院生を期待しています。

●国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻

【修士課程】

国際コミュニケーション研究科修士課程では、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材の育成を目指します。

こうした観点から国際コミュニケーション研究科で求める学生像はつぎの通りです。

- (1) 英語文献学、英語学、英語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (2) 日本語、日本語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (3) 社会科学的思考に関心があり、国際関係の仕事に就きたいと考えている人。
- (4) 国際商取引、商事仲裁など国際ビジネスに関心をもっている人。
- (5) 異文化、多文化共生、国際コミュニケーションについて関心がある人。

●文学研究科 日本文化専攻

【修士課程】

文学研究科日本文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 本専攻進学に先立って、学部教育における一般教養と専門的知識を備えている人。
- (2) 専攻の個別専門分野である日本語学、日本文学、日本民俗学、日本史学を中心に、古代から近現代に至るまで、日本文化における独自性や多面性などの諸問題について総合的に把握する意欲を有する人。

【博士後期課程】

文学研究科日本文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 修士の学位を取得した上で、修士論文を基に、専門的な知識、思考力、分析力など研究能力についての更なる向上が見込める人。
- (2) 日本文化に関する専門的な教養を有した上で、さらにそれをより広い文脈の中で相対化し、横断的に隣接諸分野へと架橋し得る柔軟性と思考力を有する人。
- (3) 日本文化に関する専門的研究を深め、研究者として当該分野における研究を発展させ得る潜在能力を有すると共に、教育者として高等教育においてその能力を発揮したいという意欲を持つ人。

●文学研究科 地域社会システム専攻

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、地域社会に関する多様な領域の個別研究の成果と、諸課題に関する学際的連携による研究をふまえて、地域社会の地理・環境、経済・政治活動、組織・集団関係、地域文化、住民の生活・活動などから構成される地域社会システムについて、その構造と変動過程の解明をめざして多面的な研究を行い、高度な専門職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 本研究科で学ぶために必要な学力を身につけている人。
- (2) 地域社会への強い関心を持ち、地域社会の構造と変動過程について、主体的に研究する意欲がある人。
- (3) 地域社会に関する多様な分野の専門知識を修得して、地域社会への貢献を目指す人。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、地域政策、地域計画、地域活動などの諸要素をも組み込んだ地域社会の再構築を構想する研究、教育を組織的、実践的に行うことによって新たな地域社会システムのあり方を探究し、研究者及び地域計画に関わる高度な専門的職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 地域社会の多様な分野に関する幅広い知識を修得している人。
- (2) 地域社会の諸問題について、客観的な分析にもとづいた論理思考により、独自の見解を体系化できる能力がある人。
- (3) すでに修得した専門知識をより深めながら教育職や研究職に就く意志がある人。

●文学研究科 欧米文化専攻

【修士課程】

文学研究科欧米文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) ヨーロッパとアメリカの文化一般を、思想・文学・言語学の各分野で幅広く研究を行う意思を持つ人。
- (2) 欧米の文化の諸相をその歴史を通して相対的に究明し、それを礎にして教育的実践や新たな文化の発展に寄与し得る潜在能力を持つ人。
- (3) 本専攻進学に先立つ条件として、学部教育における一般教養と専門的知識を十分備えていなければならない。
- (4) 欧米の原典を読むに先立って、相応の外国語能力を持っていることを条件とする。

【博士後期課程】

文学研究科欧米文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 欧米の文化一般の幅広い知識を備えていることを前提とし、さらに専門的研究を深めていく強い意志を持っている人。
- (2) 客観的な批判と分析に基づいた論理的思考により、研究対象を体系化し得る潜在能力を持っている人。
- (3) 指導的立場に立って文化創造をしたり、教育職や研究職に就く強い意志を持つ人。